

『側引戸搬出入作業車』 特許第 6791748 号

2021年2月15日

アイコクアルファ株式会社

本発明は、日本車輛製造(株)様との共同出願であり、鉄道車両のドアの組付け作業に関するものです。

鉄道車両のドアは、メンテナンス作業を行うにあたって取り外し、或いは取り付け作業を必要とすることがあり、従来は作業員が手作業で脱着作業を行っていました。これは、クレーン等を用いて吊り上げて作業することが困難であるためでした。しかも、この作業は狭いスペースで行わなければならない、作業負荷面及び安全面で改善が求められていました。

本発明はこの課題を解決する為に、「ラクラクハンド」と合体させコンパクトに運用できるドアの搬出入が可能な作業車を提供することを目的としました。

【本発明の概要】

作業員が乗り込める台車に助力装置（「ラクラクハンド」）を設置し、

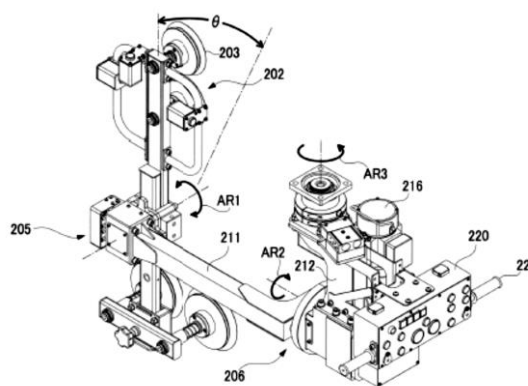
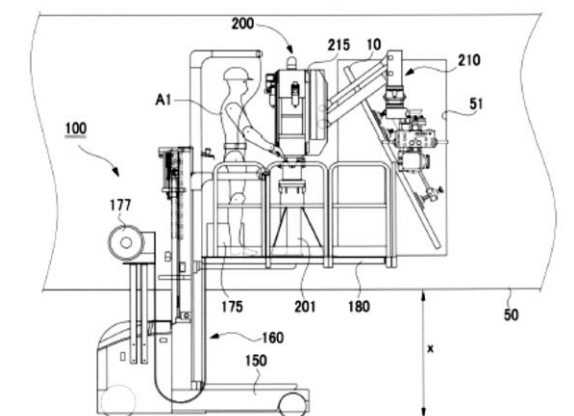
「ラクラクハンド」のアームの先端に吸着装置を取付けました。

吸着装置に3つある回転軸を利用して、

床に置いてあるドアを吸着し、「ラクラクハンド」で持上げ、

ドアを傾けながら車両に入れ込み取り付けられるようにしました。

（※詳細は、[\[特許公報\]](#)でご確認ください）



【発明者:アタッチメント設計担当 坂井直樹のコメント】



『難しい物件でしたが、日本車輛製造(株)様、弊社デザイナー（営業）と共にアイデアを出し合い課題解決に向けて進むことが出来て良かったです。今後も働く人のためになるアイデアの創造に取り組みます』